

## 防除情報(病害虫情報 号外 第7号)

平成28年4月13日  
神奈川県農業技術センター

### ナシ赤星病菌のビヤクシン樹上における冬孢子堆の膨潤状況

- ナシ赤星病の防除適期は、ビヤクシン樹上の冬孢子堆の成熟が進み、膨潤度が90～100になってから10日以内が目安です。
- 本年の膨潤は、平年より早く、前年並に進んでいます。(表1, 2)

表1 本年および前年の膨潤度の推移

本年(平成28年)		前年(平成27年)	
調査日	膨潤度	調査日	膨潤度
3月8日	15.4	3月17日	24.0
3月16日	35.7	3月18日	28.3
3月22日	48.1	3月20日	35.8
4月4日	58.0	3月30日	66.7
4月6日	80.2	4月2日	73.8
4月8日	98.1	4月9日	94.5
調査終了			

表2 平年の膨潤度到達日

膨潤度	平年の到達日
50	4月3日
90	4月13日

\* ナシ赤星病の病原菌は、ビヤクシン類を中間宿主として寄生し、ビヤクシン樹上に冬孢子堆を作ります。冬孢子堆は3月頃から少しずつ成熟し、膨潤して小生子を飛散し、ナシに感染します。よって、冬孢子堆の膨潤度を調べることで、赤星病の防除適期を知ることができます。

\* 膨潤度は次により算出しています。

$$\text{膨潤度} = \{(3A+2B+C) / (3 \times \text{調査総数})\} \times 100$$

冬孢子堆膨潤程度 A: 全体が寒天状またはそれに近い状態に膨潤している  
B: かなりふくらむが小生子を形成できる部分が少ない  
C: 原型よりわずかにふくらむ

病害虫防除部  
インターネット

TEL 0463 - 58 - 0333

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/>

○ 農薬使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。